

■計画案に対する意見の概要とそれに対する札幌市の考え方について

- 委員
- 路面電車のところで「10%～15%程度の経費の削減、利用者負担の見直しを」という表現があるが、もう少し具体的に経費の削減方策を明記したほうが良い。
- 事務局
- 路面電車については現在活用計画を検討しており、それらがまとまった段階で具体的方策については明らかにしていきたい。
- 委員長
- 路面電車の活用計画の策定時期はいつごろか。本計画に反映できるスケジュールとなっているか。
- 事務局
- 本計画は1月下旬の策定を目指している一方、路面電車活用計画は3月ぐらいの策定となっているため、本計画のP D C Aの中で反映していきたいと思う。
- 委員長
- そういう意味では、路面電車活用計画を策定中で3月くらいに有効活用策が明らかになるといった表現を加えた方が良い。
- 委員
- 路面電車の中で「利用者負担についても見直しを行います」とあるが、具体的にどの程度の負担増となるかもきちんと明記した上で、市民に理解を求める方が良い。
 - 自転車の中で「自転車の走行空間を現状の道路の中で整備を図っていく」とあるが、単純には実現不可能であると感じてしまう。その辺りを市民に納得してもらうためにはどのように整備するかについて、より具体的な説明が必要である。
 - 車を持たないので、ウイズユーカードまたはICカードを一本化して、全ての公共交通が利用できるようになることをお願いしたい。
- 委員
- 適切な自動車交通の実現についての札幌市の考え方の表現があいまいに見える。例えば自動車の分担率をどうのように考えるとか、納得できる指標について、今後の検討が必要なところだと思う。
 - 自転車のところで様々な意見が集中するのは、具体にどこの路線で自転車の走行レーンをやるというようなアクションプランがみえないためだと思うので、そういう計画を明示することが必要である。
- 委員長
- 過度な自動車依存からの脱却については、例えば札幌市で現在取り組んでいるモビリティマネジメントについて具体的に表現したりすると、わかりやすくなると思うので、少し検討していただきたい。
 - 自転車についても総論的な表現になっている部分があるので、具体的にこんな検討をしている等の表現を加えてもらうと理解しやすくなる。

-
- 委員
- バス利用者としては、バスの利便性向上に向けて、効率的に使いやすいネットワークを構築するための検討をバス事業者と連携して進めて欲しい。
 - パンフレットの2ページ目の4コマ漫画の3コマ目の「このままではバスが無くなってしまいます」というような表現はやはり納得できない。3コマ目は無くても良いのではないか。
- 委員長
- 具体的にどのような検討を進めているのかを明記すれば、一層の市民理解が得られると思う。バス事業者との検討は具体的な会議名等は書けないか。
- 事務局
- 特に正式な会議名で会議を行っているということではないが、バス事業者と連携するための議論の場を持っている。今後、市内のネットワークがどうあるべきかの議論を行っていきたいと考えている。
- 委員
- パネルディスカッション等で本計画の報告会的なものを行うなど、市民の代表として私たちがアクションを起こすことが重要だと思う。
- 事務局
- 今後、検討していきたいと思う。
- 委員長
- やり方は色々あると思うが、委員の皆様の顔と意見が伝わるような形で考えると、受け取る側の市民も受け取りやすくなると思う。
- 委員長
- この委員会の名簿や何を議論したかについては掲載されるのか。
- 事務局
- 議論の内容について報告書には入らないが、各回委員会の議事概要については都度ホームページに掲載しているので、それらをとりまとめる形で資料編等として残したいと思う。
 - 委員名簿については今後、市長コメントと併せて報告書に入れる。
- 委員長
- 修正すべき点に関しては、事務局と私に一任いただき、修正したものについて皆様に送付するという形をとらせていただきたい。
- 事務局
- 札幌市総合交通計画の策定および公表については、1月下旬から2月上旬あたりで考えている。
 - 公表の方法については市役所・区役所での配布・閲覧およびホームページでの公表を行うとともに、広報さっぽろなどにより広く市民に周知を図っていきたい。